

● 草の根パートナー型

平成15年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	スリランカ
2. 事業名	紛争被災地域での農漁業機械関連技術の普及及び生計向上
3. 事業の背景と必要性	スリランカ北部では、政府とタミル人反政府勢力との間で19年に渡って激しい内戦が繰り広げられた。その結果、基礎的なインフラが破壊され、農地は放棄され、住民の多くが住んでいた土地を逃れ、海外で難民として暮らしたり、国内の社会福祉センター（避難民キャンプ）や他の土地で避難生活を続けたりしてきた。最近の和平プロセスの進展により、避難していた人々が徐々に以前住んでいた土地に帰り始めているが、戦闘で住居や公共施設が破壊され、農業や漁業等で生計を営むための資本や設備、機材などが不足し、職を得るための技術教育を受ける機会もなく、帰還民は自立的な生活を始める上で数多くの困難を抱えている。また、こうした困難は、避難民が帰還を躊躇する大きな要因となっている。 このような状況を改善するため、当団体は、2003年の国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）との共同事業で、キリノッチ県、ムラティブ県、マンナール県で、職業訓練センターを建設・運営し、学校や孤児院、公民館、井戸、トイレの再建・修復、苗の配給などを行ってきたが、難民や国内避難民の帰還を促し、帰還民の再定住を進めるためには、被災地の住民に技術や生産手段を提供し、人々が安定した生計を営めるよう、さらなる支援を実施することが急務となっている。
4. 事業の目的	マンナール県の紛争によって被災した事業対象村において、機械に関する技術を持った青年を育成し、農漁業機械を利用した効率的な生産活動を行うことを通じて、村人の生計向上を支援する。
5. 対象地域	マンナール県
6. 受益者層	事業対象地域の青年層男女、そのほかの村人
7. 活動及び期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業機械や船外機、船体、電気機器等の整備などの技術訓練を実施することにより、これまでより高い農漁業技術を持った青年が対象地域で育成される。 ● 生産活動の効率化に必要な道具や機械を貸し出す公共レンタルショップを設け、農業地域ではトラクター、揚水ポンプ、噴霧器等を、漁業地域では船外機、船体、漁具等を低価格で貸し出す。また、様々な機材の修理・整備サービスも行う。
8. 実施期間	2004年12月～2007年6月（2年6ヶ月）
9. 事業費	第一年度契約金額：7,493千円（精算金額：7,185千円） 第二年度契約金額：29,830千円
10. 事業の実施体制	県レベルの政府カウンターパート機関と協力して事業をすすめる
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 ブリッジ エーシア ジャパン
2. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難民や帰還民、少数民族、障害児・者、貧困層の青年・女性への技術修得や能力強化の機会の提供 ● 技術を取入に結びつける支援による経済的・社会的な自立の促進 ● 地域活性化の基盤となる学校や橋の建設、生活用水を確保するための井戸掘削、衛生状態を改善するためのトイレ建設など、技術訓練を兼ねた地域発展・生活向上のための環境基盤整備 ● 植林、廃棄物のリサイクリングなど、生計向上を視野に入れた住民参加型環境保全